

リモート・コントロール

リモートコントロールとしてはスポロケット、ローラーチェン等による純機械的制御に依る場合と、

純電氣的制御に依る場合とがあります。需要目的に応じて自動制御方式も取り入れて居ります。

RE式 電気制御

RM式 機械装置 (手動)

N型 R型 U型 使用可能

RE式の種類

電磁ブレーキ付パイロットモータ (第25図)	PIV型番	15分定格です。連続使用には適しません。
標準型 4 I-BT型 25W 200V 4P 3φ 1/180付 7.8Nm	0~1型	OFFブレーキタイプですから停止中では廻りません。ブレーキ用電源は内部結線済です。
5 I-BT型 40W 200V 4P 3φ 1/180付 9.8Nm	2~4型	(DC100V)。停止する時間は0.5~1秒を要します
6 I-BT型 75W 200V 4P 3φ 1/90付 14.7Nm	5X~6型	1/10ギヤーヘッドが追加できます(2段式になる)。
特殊型 減速比 1/300 1/360, 1/500 (2段式)		スポロケット、安全カップリング、ローラーチェン、アタッチメント、チェンカバー等を含みます。
異電圧 380V 400V 415V 440V 460V(外部電源不要)		
安全増防爆型 耐圧防爆型		
取付一式 標準取付 第24図 32図参照		
特殊取付 第31図参照		
セフティカップリング トルク		ハンドルの廻し過ぎを防止します。
SBS 7-15T [締付 1/3回 1~2Nm]		7~18はPIVハンドル軸径に対応します。
SBS 10-15T [締付 2/3回 2~3Nm]		ローラーチェンはJIS410サイズです。
SBS 14-15T [締付 1回 3~4Nm]		締付はナットを廻す回数です、この範囲で使用します。
SBW 14-15T [締付 1回 6~8Nm]		
SBW 18-15T [締付 1回 6~8Nm]		
押釦スイッチ		PIVのパイロットモートル操作として、単独に押釦スイッチのみで使用する場合。
R3型 [可逆電磁開閉器使用型]		
R4型 [直入使用型]		
ダイヤルリミット (第33図)		防爆仕様の場合は押釦スイッチと同様に接点変換器RB-02型を中継すると可能です。使用回転範囲のセット又は自動制御の安全装置として使用します。
DL2型 (NROには取付けできません)	0~1型	
DL3型	2~3型	
DL4型	4型	
DL5型	5X~6型	マイクロスイッチ(ZI5GW22B,ケース付)が付きます。
デジタル回転計		PIV回転数又はライン速度等をデジタル数値にて読み取れます。
指示計 VES5000 [96W 48H 136L] 電源AC100/200V	5桁表示	
発信器 SH6 [60P/R DC12V]	据付型	ロータリーエンコーダの防爆仕様の場合、パルスカプラBF-12-100型を中継することにより、TG6-SH6又は、TG6-SH6FSにかぎり本質安全防爆増仕様となります。
SH6FS [60P/R DC12V]	フランジ取付型	
LBJ [100/600P/R DC12V]	フランジ取付型	
プリセット出力付デジタル比率計		PIV回転比又はライン速度比・ドロー比等をデジタル数値にてプリセットし、パイロットモータにより目標値に制御します。又現在値をデジタル数値で読み取れます。
VPR-512 [96W 48H 148L] AC85~250V	5桁表示	
デジタルカッターカウンタ		ロータリーカッターで切断する長さを表示する機器です。切断前にPIVを空転で寸法合せが出来ますから材料の節約が出来ます。
L-600型 [284W 58H 190L] 電源AC100V	6桁表示	
附属品 RP-432Z [1000P/R DC12V] ロータリーエンコーダ ¹ 個		
RP-10 [10m] ロータリーエンコーダ用コード	1本	
MP-981 [DC12V] 電磁式検出器	1個	
MP-10 [10m] 電磁式検出器用コード	1本	